

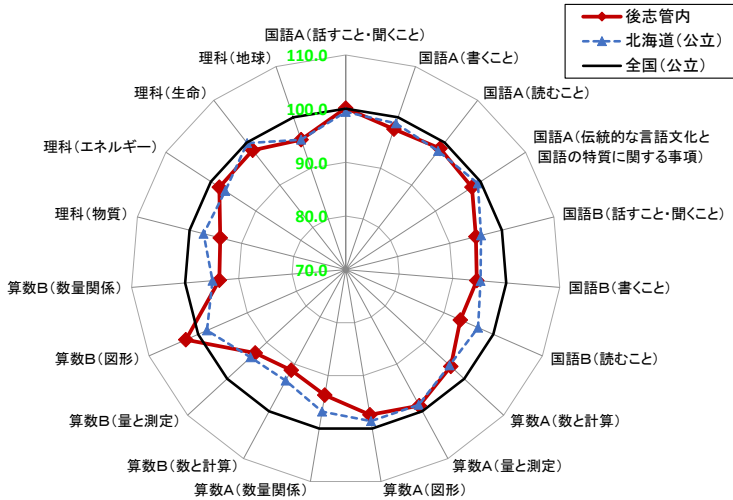
■小学校の状況(学校数:57校、児童数:1400人)

【平均正答率】

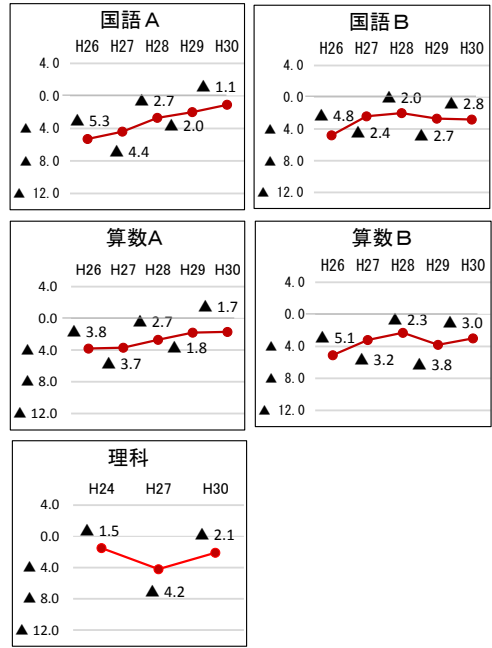
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
後志	70[69.6]	52[51.9]	62[61.8]	49[48.5]	58[58.2]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

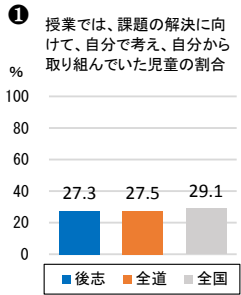


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

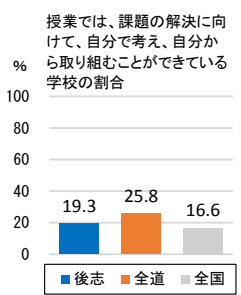
【質問紙の状況】

指導方法

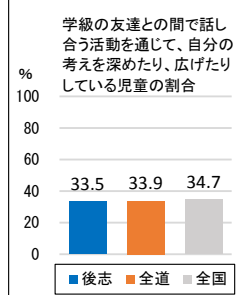
* 児童質問紙



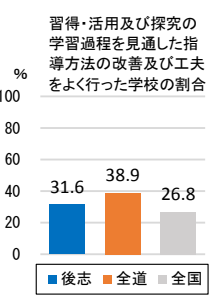
* 学校質問紙



* 児童質問紙

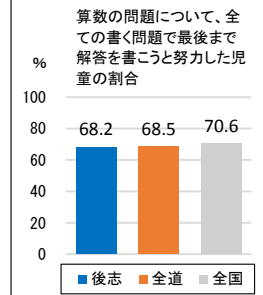


* 学校質問紙



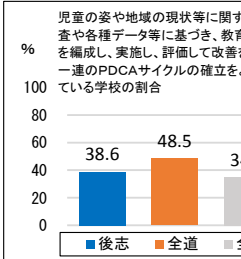
学習意欲

* 児童質問紙

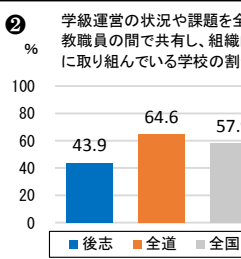


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

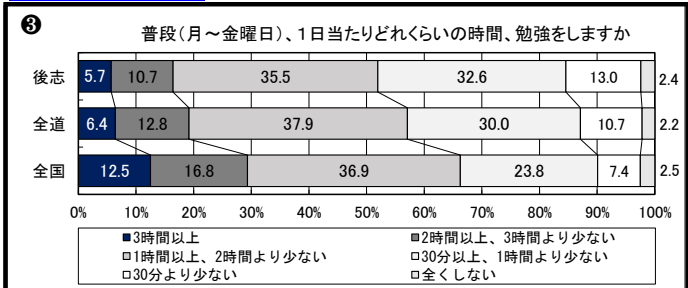


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「話すこと・聞くこと」、算数Bの「図形」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語B、算数A、理科の全ての領域で下回っている。特に、算数Bの「数と計算」で差が大きいことから、指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は27.3%であり、全国を下回っていることから、児童が主体的に課題解決することができるよう、単元の指導計画や1単位時間の学習過程をより一層改善する必要がある。</p> <p>② 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は43.9%であり、全国を下回っていることから、各種調査結果及び学校評価の結果を組織的に分析するとともに、何をいつまでにどのように取り組むかについて全教職員で共通理解を図り、共通実践する必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は51.9%であり、全国を下回っていることから、学校が家庭と連携を図り、家庭学習の方法や内容について具体的に提示するなど、家庭学習習慣の確立に向けた取組を推進する必要がある。</p>

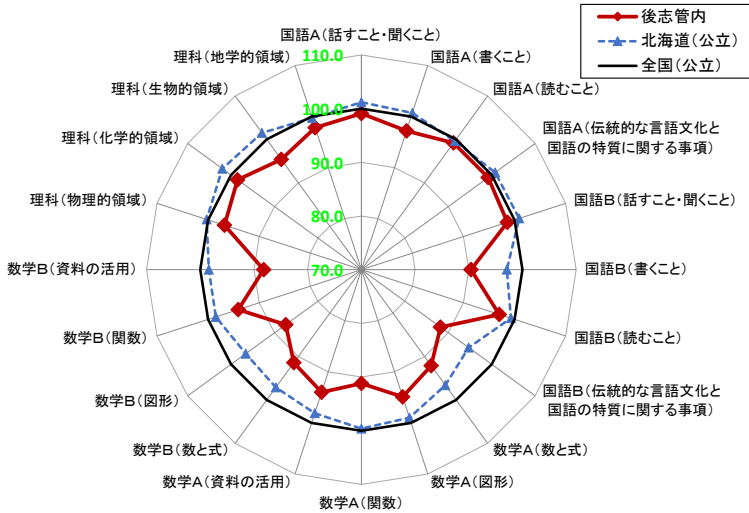
■ 中学校の状況 (学校数: 35校、生徒数: 1477人)

【平均正答率】

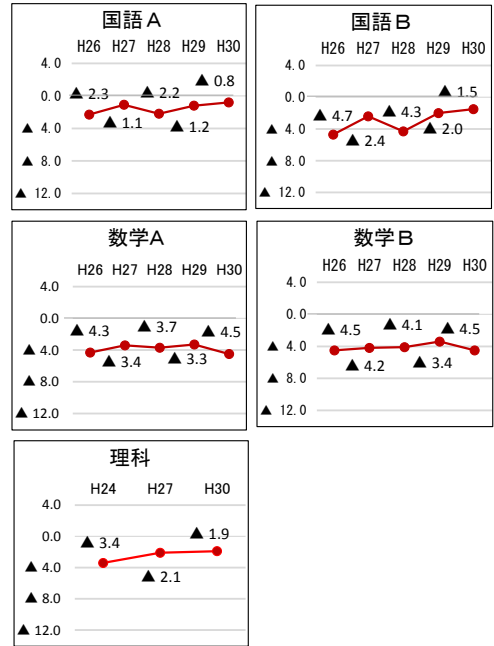
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
後志	75[75.3]	60[59.7]	62[61.6]	42[42.4]	64[64.2]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

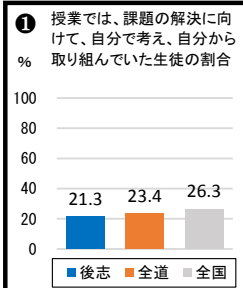


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

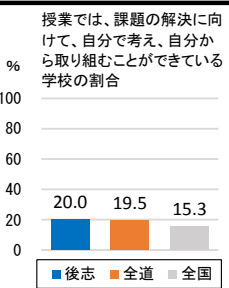
【質問紙の状況】

指導方法

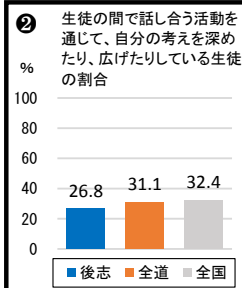
* 生徒質問紙



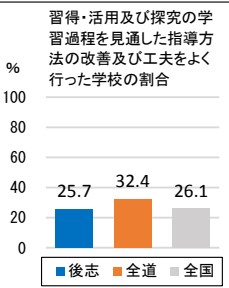
* 学校質問紙



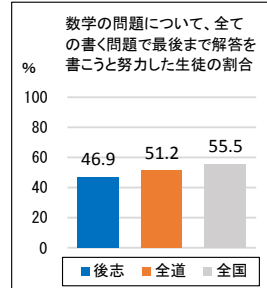
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

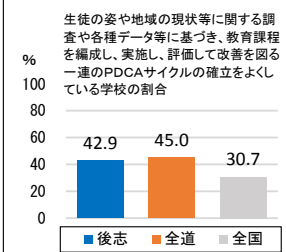


* 生徒質問紙

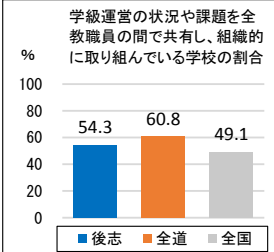


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

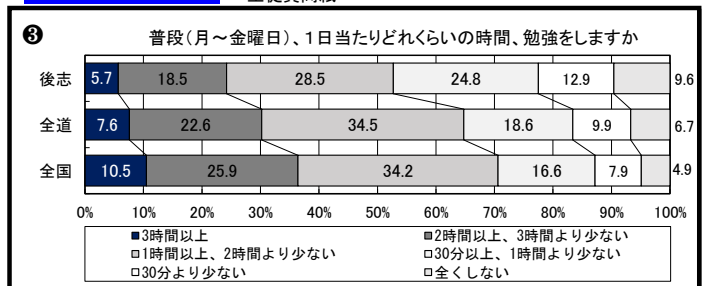


* 学校質問紙



学習習慣

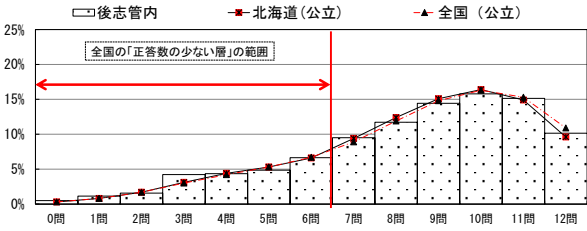
* 生徒質問紙



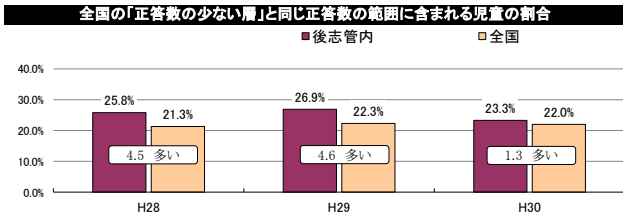
【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で近くなっている。 ○ 全国と比較し、国語A・B、算数A・B、理科の全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「図形」「資料の活用」で差が大きいことから、指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は20.0%であり、全国を上回っているが、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は21.3%であり、全国を下回っていることから、生徒が主体的に課題解決に取り組むことができるよう、単元の指導計画や1単位時間の学習過程をより一層改善する必要がある。 ② 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている生徒の割合は26.8%で、全国を下回っていることから、単元を見通して、学び合う場を効果的に位置付け、自分の考えの変容を自覚することができるよう授業改善を推進する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は52.7%であり、全国を下回っていることから、学校が家庭と連携を図り、家庭学習の方法や内容について具体的に提示するなど、家庭学習習慣の確立に向けた取組を推進する必要がある。

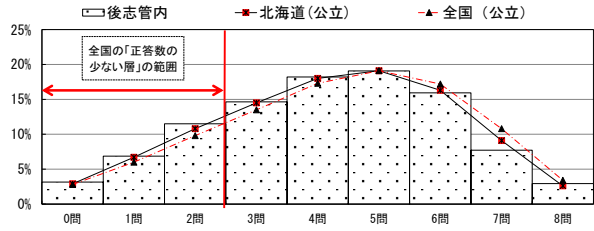
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,400	8.3 / 12	69.6	9.0	2.8
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



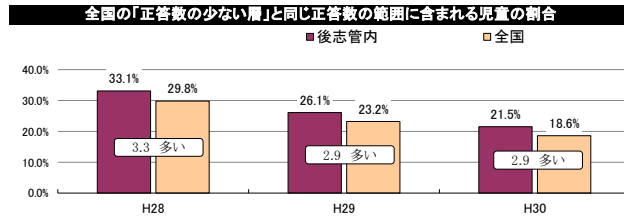
●全国的「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



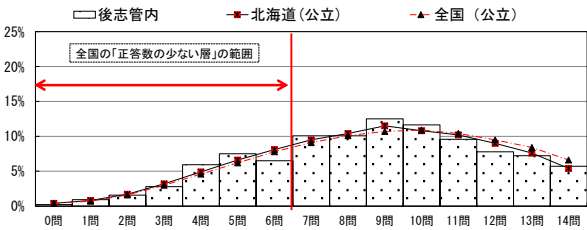
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,400	4.2 / 8	51.9	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



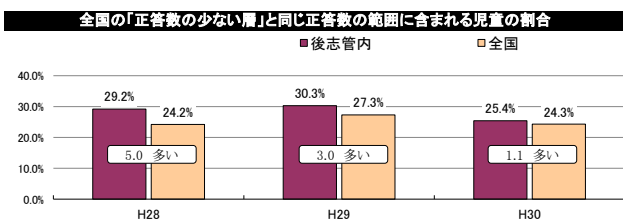
●全国的「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



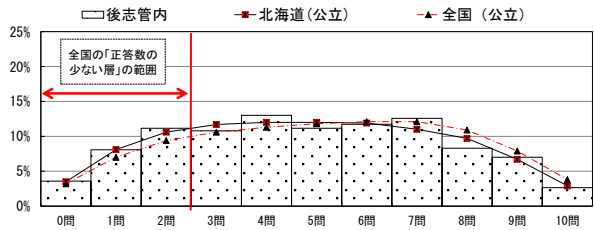
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,400	8.7 / 14	61.8	9.0	3.2
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



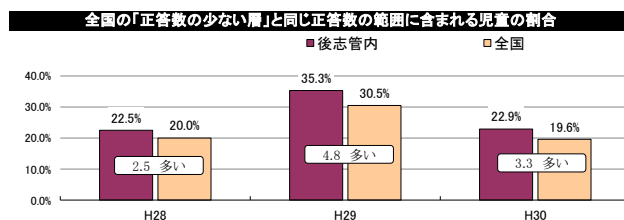
●全国的「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



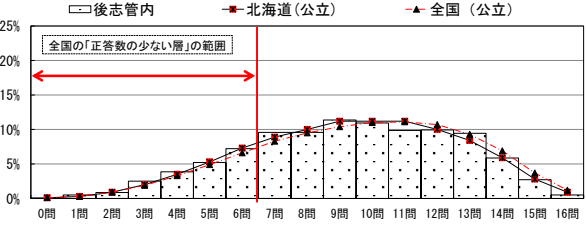
小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,399	4.8 / 10	48.5	5.0	2.6
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



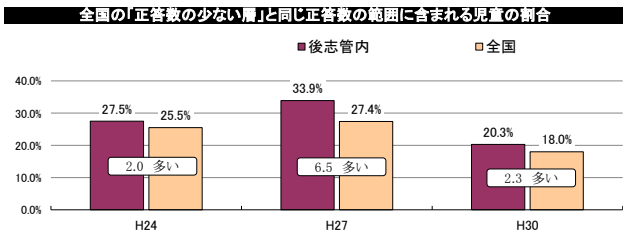
●全国的「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



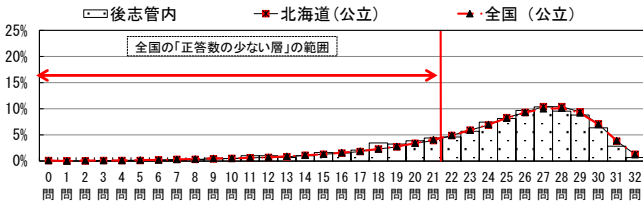
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,399	9.3 / 16	58.2	9.0	3.2
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



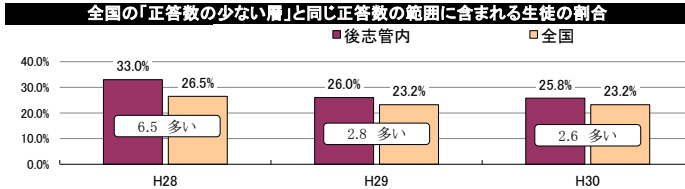
●全国的「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



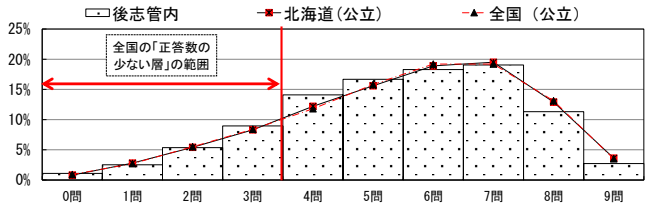
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,477	24.1 / 32	75.3	25.0	5.1
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



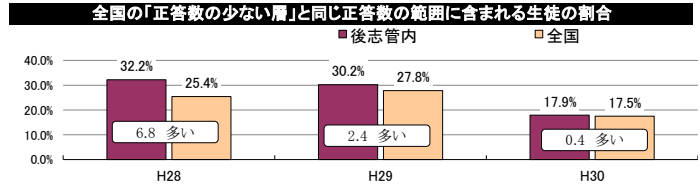
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



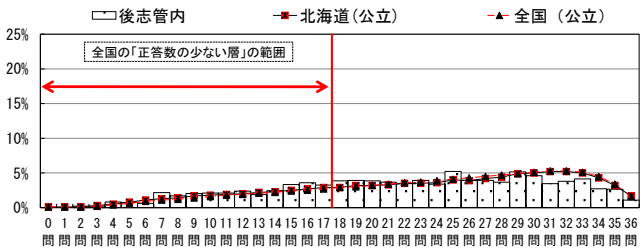
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,476	5.4 / 9	59.7	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



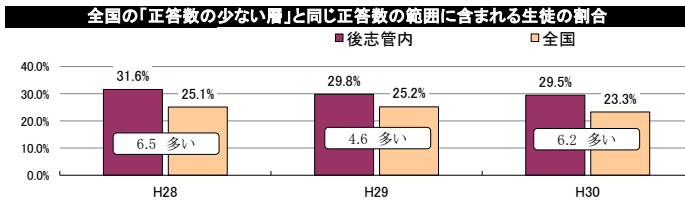
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



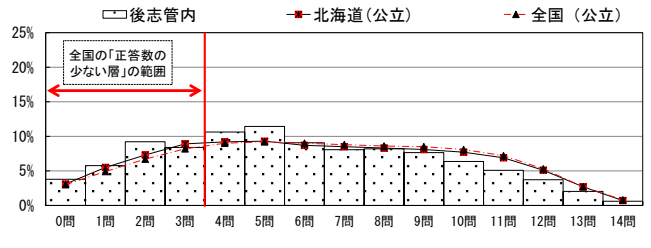
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,475	22.2 / 36	61.6	23.0	8.2
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



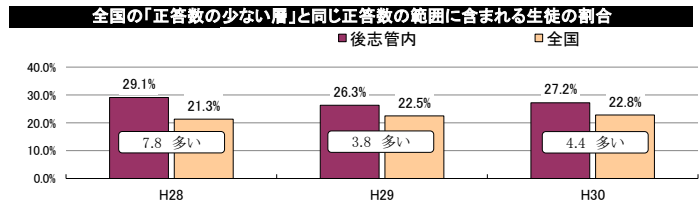
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



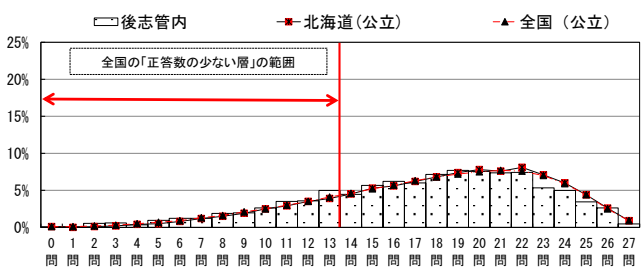
中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,477	5.9 / 14	42.4	6.0	3.4
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



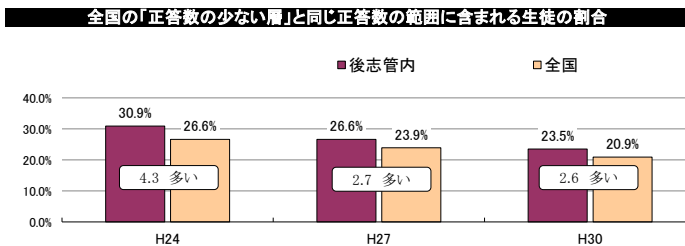
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,481	17.3 / 27	64.2	18.0	5.3
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A		小学校国語B	
後志管内	全国	後志管内	全国
38.1%	29.4%	30.8%	26.5%
全国との差 8.7多い		全国との差 4.3多い	
H30中3 : 2.6多い		H30中3 : 0.4多い	

小学校算数A		小学校算数B	
後志管内	全国	後志管内	全国
27.7%	21.7%	30.1%	25.2%
全国との差 6.0多い		全国との差 4.9多い	
H30中3 : 6.2多い		H30中3 : 4.4多い	

小学校理科	
後志管内	全国
33.9%	27.4%
全国との差 6.5多い	
H30中3 : 2.6多い	